

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村パークゴルフ場整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ) 観光客の受入態勢の整備		
担当部課名	政策調整室	事業実施 年度	令和 元 ~ 令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	新たな観光メニューとしてパークゴルフ場を整備し、滞在型観光への取り組みの強化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	
	A. 予算現額	38,272				38,272	
	B. 執行済額	38,272				38,272	
	うち 交付金充当額	27,446				27,446	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パークゴルフ場整備工事の実施設計	目標	実施				
		実績	実施				
	パークゴルフ場整備工事の実施	目標	実施				
		実績	実施				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パークゴルフ場整備工事の実施設計の完了	目標	完了				
		実績	完了				
	パークゴルフ場整備工事の完了	目標	完了				
		実績	完了				
	目標						
	実績						

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		令和2年度				2年度 目標/発現年度
令和2年度利用者数	目標	15,150人				15,150人
	実績	5,786人				5,786人
	目標					
	実績					

【令和2年度】  
 ・令和2年度における伊江村パークゴルフ場の利用者数は5,786人であり、目標値である15,150人を大幅に下回っている。

状況説明

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、来島制限を行ったことで利用者は大幅に減少しているため、今後の感染防止対策を含めた観光誘客が課題となっている。</li> <li>・隣接する「伊江島ハイビスカス園」と連携した観光誘客の推進に取り組むことで更なる認知度の向上と利用者数の増加が期待できる。</li> </ul>	<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設に係る情報発信について、村ホームページへの掲載だけでなく、本村公式SNSにも掲載するなど、多角的な情報発信に努める必要がある。</li> </ul>
--	---

**今後の取り組み方針**(関連・同種事業へのフィードバック等)

【令和2年度】

- ・当施設の利用率の向上に向けた、認知度向上に係る取組として、SNSを活用した情報発信に取り組むとともに、当施設の魅力を掲載したパンフレット等の作成を行い更なる観光誘客を図る。

市町村名		伊江村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】									
事業名	墓地整備基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備				
担当部課名	建設課		事業実施 年度	平成 29	~	平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-12
事業内容	本村に点在する墓地の現状を調査し、村民へアンケート調査を行うことで村民ニーズを把握するとともに、墓地を集約化することで、散在化の抑制、土地利用対策及び景観への配慮を目的とした総合的な墓地対策の指針となる墓地基本計画を策定する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )								
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	総事業費		
	A. 予算現額	7,500					7,500		
	B. 執行済額	7,290					7,290		
	うち 交付金充当額	5,832					5,832		
	執行率(%) (B/A)	97.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2%		
執行状況の説明	執行率は97.2%であり、概ね計画的に執行できた。								
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況						
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	墓地整備基本計画の策定		目標	計画策定	-	-	-	-	
			実績	計画策定	-	-	-	-	
			目標	-	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況						
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	墓地整備基本計画の策定完了		目標	計画策定の完了	-	-	-	-	
			実績	計画策定の完了	-	-	-	-	
			目標	-	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度		R3年度 目標/発現年度	
	事業完了後の成果目標	令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。	目標	8件	8件	8件	
実績			5件	3件	6件		
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【H30年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は5件であり、目標の8件は達成できなかった。しかしながら、村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地の設置許可については0件であったため、散在防止及び墓地の集約を図ることができた。</p> <p>【R01年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は3件であった。平成30年度と同様に目標の8件は達成できなかったが村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和元年度においても散在防止及び墓地の集約を図ることができた。</p> <p>【R02年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は6件であり、前年度同様8件は達成することはできなかったが、村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和2年度においても散在防止及び墓地の集約化を図ることができた。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・墓地基本計画を策定したことにより、個人所有の土地で墓地の設置を申請する際に村営墓地団地の利用を説明しており、それにより個人所有の土地に墓の設置を行わずに村営墓地団地に墓の設置を行うようになってきている。このことから墓地の散在化防止及び集約化に繋がっており、事業効果が発揮できていると考える。</p> <p>【R01年度】 ・令和元年度においても個人所有の土地による墓の建設相談が3件あったが、墓地基本計画に沿って村営墓地団地への利用案内、計画の説明を行い村営墓地団地の利用をしていただいた。前年度同様に墓地の散在防止及び集約化へ繋がっている。このことから同計画の事業効果が発揮できていると考える。</p> <p>【R02年度】 ・令和2年度においても、引き続き個人所有の土地における墓地設置の相談があった際は村営墓地団地への利用案内を行っている。そのため、墓地の散在化防止及び集約化に繋がっていると考えられる。</p>			<p>【H30年度】 ・墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知を行うことが必要であるため、村ホームページや広報誌等に掲載する必要がある。また、現時点においては、個人所有の土地における墓地の設置について申請があった場合、墓地整備基本計画を説明し、できるだけ村営墓地団地の利用を促しているが、強制ではないため許可区域の選定を行う2次計画の策定を行う必要がある。</p> <p>【R01年度】 ・前年度同様に墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知を引き続き村ホームページや広報誌等に掲載する必要がある。個人所有の土地における墓地の設置についても申請があった場合、墓地整備基本計画を説明し、村営墓地団地の利用を促しているが、強制ではないため許可区域の選定を行う2次計画の策定を行う必要がある。</p> <p>【R02年度】 ・墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知について、これまでの村ホームページや広報誌等による周知の効果が発現しているが、更なる周知徹底を図るため、村公式SNSを活用した周知活動などを行う必要がある。</p>				
<b>今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</b>							
<p>【H30年度】 ・村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を周知する。 また、本計画書を基に2次計画書の作成が必要であることから、今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可区域の選定を行っていく。なお、許可区域の選定においては、検討委員会等の設置や農業委員会等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した計画書の作成を検討する。</p> <p>【R01年度】 ・引き続き村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を周知する。 今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可区域の選定を行っていく。なお、許可区域の選定においては、検討委員会等の設置や農業委員会等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した計画書の作成を検討する。</p> <p>【R02年度】 ・引き続き、村ホームページや広報誌を通して、村民へ墓地に関する情報の周知を図るとともに、村公式Instagram等のSNSを活用した周知を図るなど、広く認識が深められるよう取り組みを進めていく。</p>							

市町村名 **伊江村**

**沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】**

<b>事業名</b>	伊江村観光危機管理計画策定事業			<b>沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所</b>	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備
<b>担当部課名</b>	商工観光課	<b>事業実施年度</b>	平成30 ~ 平成30 年度	<b>沖縄振興基本方針該当箇所</b>	Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他( )

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	A. 予算現額		10,000	/	/	/
B. 執行済額		8,100	/	/	/	8,100
うち 交付金充当額		6,480	/	/	/	6,480
執行率(%) (B/A)		81.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.0%
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額1,900千円については入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
	目標	観光危機管理計画の策定	/	/	/	/
	実績	策定完了	/	/	/	/
	目標	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/
	目標	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
	目標	観光危機管理計画の策定完了	/	/	/	/
	実績	策定完了	/	/	/	/
【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画に基づき避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標	/	/	避難訓練実施	/	/
	実績	/	/	/	/	/
	目標	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1	R2	R3	R4	4年度 目標/発現年度
	整備後 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	
実績		避難訓練実施1回	避難訓練実施未実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)				
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【R1年度】 ・令和元年度は、各観光関連事業者に伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機マニュアルを配布し、伊江村役場が主体となって、宿泊事業者、民家体験宿事業者及び受入民家の体表を対象に避難訓練を行った。</p> <p>【R2年度】 ・令和2年度は、各観光関連事業者を対象の前年度も実施した避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策との関係で未実施となった。 ・沖縄県観光防災力強化支援事業を活用し、伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品(簡易トイレ、毛布、救急箱、発電機等)、避難所誘導看板を整備し、観光客受入体制の強化を行った。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づき観光関連事業者には観光危機マニュアルを配布し、観光関連事業者を対象とした避難訓練も行いました。</p> <p>【R2年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づき、補助事業を活用し、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備した。</p>			<p>【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づいて、避難訓練を行ったが、住民の防災訓練とは違って、観光関連事業者は、観光客の安否確認や、村役場への報告に苦勞しているように見えたが、実際に訓練をすることで見えてくる部分が多くあり、次年度以降も継続して実施してほしいという意見も多くあった。</p> <p>【R2年度】 ・令和2年度は伊江村観光危機管理計画に基づいて観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備したが、不足している備品や消耗品(懐中電灯、電池、生理用品等)を今後も引き続き整備していきたい。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画の周知を行うことにより、観光関連事業者に観光危機管理への意識を高めることで、伊江村観光客受入体制の強化につながる。</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、伊江村の観光客数は例年の三分の一にまで減少したが、観光危機に対して危機管理の意識は高まったといえる。今後は伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機管理体制の強化及び早期の復興計画、観光関連事業者への事業継続支援等を行い、伊江村の観光振興に繋げたい。</p>							

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	離島定住環境基盤整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(イ) 流通・販売・加工対策の強化		
担当部課名	建設課	事業実施 年度	平成 30	～ 令和 元	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷捌きを実施できる施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成30年度	H30年度(繰越)	令和元年度	令和2年度	合計	
	A. 予算現額	56,213	-			56,213	
	B. 執行済額	26,124	30,089			56,213	
	うち 交付金充当額	20,897	22,680			43,577	
	執行率(%) (B/A)	46.5%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	設計発注当初は直接基礎を想定したが、地質調査において、地盤が液状化すると判断されたため、支持層となる地盤が確認されるまでさらに調査が必要となり基礎の工法検討に不測の日数を要したため、工事費に係る30,089千円を令和元年度に繰越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・荷捌き施設の設計及び整備 (建設場所:本部港、147㎡)	目標	設計及び整備 の実施				
		実績	設計及び整備 の実施完了				
	・事務所・冷蔵保管庫の設計及び整備 (建築場所:本部港、24㎡)	目標	設計及び整備 の実施				
実績		設計及び整備 の実施完了					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・荷捌き施設の設計及び基礎工事の完了	目標	設計及び基礎 工事の完了				
		実績	設計及び基礎 工事の完了				
		目標					
実績							

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		令和2年度				
事業完了後の成果目標	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80%			
		実績	80%以上			
	目標					
	実績					

【令和2年度】  
 ・本部港荷捌き施設の建設については、令和元年度10月末で整備が完了し、令和元年11月から供用開始されている。アンケート調査結果については、利便性が図られたとする回答が80%以上であった。

状況説明

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【令和2年度】 ・施設の完成により、伊江村向けと村外向けの貨物の分離ができるようになり、村民が安心・安全に生活必需品等の荷捌きが実施されている。	【令和2年度】 ・今後更なる施設の利便性向上や、日常生活必需品等を安心・安全に取り扱うため、関係機関との連携強化を図る。
---	---

**今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)**

【令和2年度】  
 ・引き続き定住環境基盤の整備・強化を図るため、適切な管理方法を構築し、施設利用者に対して、安心・安全に生活必需品等の荷捌きが実施される環境を整えていく。